

## シンポジウム「平和憲法と公共哲学」

日時 2004年12月18日(土)、19日(日)

場所 国際基督教大学本部棟206室

主催 国際基督教大学COEプログラム『『平和・安全・共生』研究教育の形成と展開』

共催 千葉大学COEプログラム「持続可能な福祉社会に向けての公共研究拠点」  
地球平和公共ネットワーク

## プログラム

### 12月18日(土) 第一日「平和憲法の過去・現在・未来」

(敬称略)

9時50分 シンポジウム開催にあつての挨拶

鈴木典比古(国際基督教大学学長)

司会 千葉 眞(国際基督教大学)

10時~11時 基調講演 奥平康弘(東京大学名誉教授・元国際基督教大学教授)

「いま、日本国憲法の何が語られるべきか」

11時~12時 コメントと全体討議

コメンテーター 川岸令和(早稲田大学教授)

昼の休憩

13時~19時 第一セッション 司会 小林 正弥(千葉大学)

#各40分報告

報告1 太田義器(摂南大学助教授)「平和のアイデアと憲法」

報告2 山内敏弘(龍谷大学教授)「改憲論の動向と護憲論の課題」

休憩(コーヒー・ブレイク/15分)

報告3 杉田 敦(法政大学教授)「テキスト/実践としての constitution」

報告4 加藤 節(成蹊大学教授)「日本国憲法第九条の政治哲学的意味」

コメントと全体討議

コメンテーター

#10分

笹川紀勝(国際基督教大学教授)

19時~20時半 懇親会 ICU アルムナイ・ハウス

### 12月19日(日) 第二日「将来の日本・平和憲法・公共哲学」

9時30分~13時 第二セッション 司会 木部 尚志(国際基督教大学準教授)

報告1 申 惠丰(Shin Hae Bong)(青山学院大学助教授) #各40分報告

「イラク戦・日米安保・常任理事国——対米追従と国連中心主義の矛盾と亀裂」

報告 2 ガヴァン・マッコーマック (Gavan McCormack) (国際基督教大学客員教授)  
「いよいよ、普通の国か」

報告 3 功刀達朗 (国際基督教大学 COE 客員教授)  
「平和憲法、国際法、国連— グローバル公共政策の視点から」  
コメントと全体討議  
コメンテーター #各10分  
斎藤純一 (早稲田大学教授)、押村 高 (青山学院大学教授)

#### 昼の休憩

14時—17時30分 第三セッション 司会 水島治郎 (千葉大学助教授)  
#各40分報告

報告 1 小林正弥 (千葉大学教授)  
「平和公共哲学の再構成— ディープ・ピースと友愛公共主義」

報告 2 山脇直司 (東京大学教授) 「個人の尊重、公共の福祉、そして平和」

休憩 (コーヒー・ブレイク / 15分)

報告 3 藤田英典 (国際基督教大学教授)  
「知識社会における教育課題と教育の公共性」  
コメントと全体討議  
コメンテーター #各10分  
関谷 昇 (千葉大学助教授)、山岡龍一 (放送大学助教授)

17時50分—18時 シンポジウム閉会にあたっての挨拶  
小林正弥 (千葉大学教授)

#### ICU への交通機関 (3つの駅から ICU に来る方法)

- 1 JR 中央線武蔵境駅南口から  
小田急バス②番乗場より「国際基督教大学行」終点下車 (乗車時間約12分、大学構内まで)  
タクシー (約10分、料金1000円前後)
- 2 JR 中央線三鷹駅南口から  
小田急バス③番乗場より「国際基督教大学行」終点下車 (乗車時間約20分、大学構内まで)
- 3 京王線調布駅北口から  
小田急バス「武蔵境駅南口行」にて「富士重工前」下車 (乗車時間約20分)、徒歩で大学構内へ (約8分)